

JIS X 0213 : 2004 規格対応による文字フォント変更について

平成 18 年 12 月 22 日
社団法人電子情報技術産業協会

1.はじめに

『JIS X 0213:2004』は、2004 年 2 月に経済産業省より発表された『JIS 漢字コード表の改正について』により改正された JIS 漢字コード表であり、2000 年 12 月の国語審議会答申で確立された印刷標準漢字字体と整合する目的により制定された最新の日本語文字コード規格になります。

マイクロソフト株式会社は 2005 年 7 月 29 日、Windows の次期バージョン Windows Vista™ に標準で搭載される日本語フォント (MS ゴシック 3 書体、MS 明朝 2 書体、および日本語 Clear Type フォント「メイリオ」) を、日本工業規格の最新規格である『JIS X 0213:2004』に対応した書体とすると正式発表しました。

Windows Vista™が『JIS X 0213:2004』文字セットを標準搭載することにより、新聞・雑誌などで多く使われる活字印刷文字字形と PC などのコンピュータ印刷文字字形との統一性が高まることとなります。

この反面、既存 OS (Windows® XP/Windows®2000/Windows® ME/Windows®98/Windows®95) より字数が増え、また一部の例示字形が変更になることになり、新 OS (Windows Vista™)搭載 PC と既存 OS (Windows® XP/Windows®2000/Windows® ME/Windows®98/Windows®95) 搭載 PC との間での、メールや文書データのやり取り、などの際に、文字表示の互換性の影響が出る可能性が予想されます。

社団法人電子情報技術産業協会 (以下 JEITA という) では、『JIS X 0213:2004』文字セットを新フォントとして搭載した Windows Vista™についてお客様に正しく理解して頂き、既存フォントである『JIS X 0208』文字セット搭載機器との間で主に想定される事象について、事前にお知らせする事で、パソコン市場の健全な発展に努めたく、ご案内させていただきます。

関連リンク 2005 年 7 月 29 日のマイクロソフト株式会社の発表

<http://www.microsoft.com/japan/presspass/detail.aspx?newsid=2353>

関連リンク 日本工業規格 JIS X0213:2004 について

<http://www.jisc.go.jp/newstopics/2005/tp0213.htm>

関連リンク 国語審議会 答申 2000 年 12 月 8 日 「表外漢字字体表」

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/12/kokugo/toushin/001218.htm

関連リンク 経済産業省 2004年2月20日 「JIS 漢字コード表の改正について」

<http://www.meti.go.jp/kohosys/press/0004964/index.html>

関連リンク 2006年11月28日マイクロソフト株式会社 JIS X 0213:2004 対応と新日本語フォント「メイリオ」について

http://www.microsoft.com/japan/windowsvista/jp_font/default.mspix

2. JIS フォント変更の背景

日本語で使用する文字や字形については、1993年11月に文部大臣より「新しい時代に応じた国語施策の在り方について」という諮問があり、それを受けて2000年12月 国語審議会が行った答申「表外漢字字体表」に、「表外漢字字体表の趣旨が生かせる形での改訂が望まれる。」と示されており、これを受けて経済産業省により2004年2月「JIS 漢字コード表の改正について」として JIS 漢字コードが『JIS X 0213:2004』へ改正されました。

その背景には次のような問題があり、それを解決するための施策となっています。

パソコンが普及を始めた当初、その処理能力には限界があり、搭載できる文字数や文字表現に制限がありました。そのことにより、国語施策に沿った印刷物での活字の文字数や字形（印刷標準字体）と、パソコンで取り扱う文字数や字形（JIS X 0208）の一部が異なっておりました。しかし、社会生活へ広範囲にパソコンが普及した現在、印刷標準字体への対応がより必要とされています。Windows Vista™ではパソコンの処理能力がパソコン普及の当初よりも大幅に向上したこともあり、常用漢字だけでなく、それ以外の表外漢字や非漢字（記号等）を含めて、印刷標準字体に沿った文字や字形を採用した『JIS X 0213:2004』に対応したフォントを搭載することが可能となりました。

今後、各情報機器等で『JIS X0213:2004』に対応したフォントを搭載することが望まれています。

3. 事象の具体例

文字表示が変更となる事象として、3パターンあります。

(1) Windows Vista™で表示される文字が、既存 OS 等では字形が異なって表示される。

→ 別表 1 参照

(2) Windows Vista™で表示される文字が、既存 OS 等で表示されない。

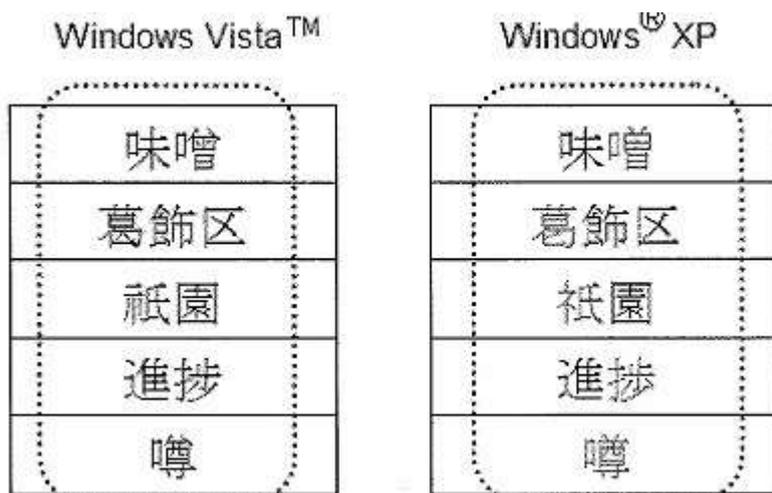
JIS X 0213:2004 (JIS2004) 対応について「MS ゴシック明朝 V5.00 フォントアップデート情報」

http://www.microsoft.com/japan/windowsvista/jp_font/default.mspix 参照

(3) Windows Vista™で IME の変換候補から「環境依存文字 (Unicode)」と注意書きが表示される文字を WEB サイト上に入力すると、正しく扱われない場合がある。

《 (1)の例 》

Windows Vista™で表示される文字が Windows® XP で表示される文字と字形が異なる。

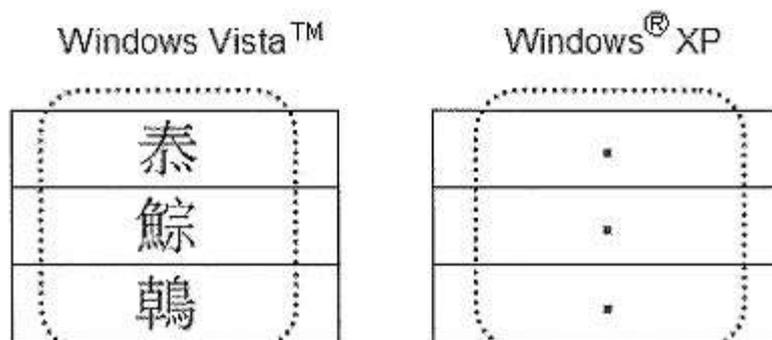


JIS X 0213:2004 (Windows Vista™) で字形が変更された文字の一例。

その他 JIS X 0213:2004 で字形が変更された漢字・・・別表 1

《 (2)の例 》

Windows Vista™で表示される文字が Windows® XP で表示されない。



JIS X 0213:2004 (Windows Vista™) で追加された文字の一例。

その他 JIS X 0213:2004 (Windows Vista™) で追加された文字・・・関連リンク

マイクロソフト株式会社 JIS X 0213:2004 (JIS2004) 対応について

http://www.microsoft.com/japan/windowsvista/jp_font/default.mspx

《 (3)の例 》

Windows Vista™で IME の変換候補から「環境依存文字 (unicode)」と注意書きが表示される文字を WEB サイト上に入力すると、正しく扱われない場合がある。



WEB サイト上での環境依存文字(unicode)に関する処理の一例。

別表 1

面区点 位置	改正後 字形	改正前 字形									
1-16-9	逢	逢	1-19-2	晦	晦	1-22-91	櫛	櫛	1-26-71	榭	榭
1-16-18	芦	芦	1-19-10	蟹	蟹	1-22-93	屑	屑	1-27-7	薩	薩
1-16-27	飴	飴	1-19-75	葛	葛	1-23-9	条	条	1-27-10	鯖	鯖
1-16-78	溢	溢	1-19-83	鞆	鞆	1-23-23	祁	祁	1-27-12	鯖	鯖
1-16-81	茨	茨	1-19-88	釜	釜	1-23-68	隙	隙	1-27-13	鮫	鮫
1-16-83	鯛	鯛	1-20-45	翰	翰	1-23-81	倦	倦	1-27-33	餐	餐
1-16-92	淫	淫	1-20-69	翫	翫	1-23-94	捲	捲	1-28-61	杓	杓
1-17-10	迂	迂	1-21-11	徽	徽	1-24-3	牽	牽	1-28-62	灼	灼
1-17-25	厩	厩	1-21-32	祇	祇	1-24-16	鍵	鍵	1-29-22	酋	酋
1-17-29	樽	樽	1-21-66	汲	汲	1-24-33	諺	諺	1-29-61	楯	楯
1-17-34	餌	餌	1-21-68	灸	灸	1-25-11	巷	巷	1-29-82	薯	薯
1-18-8	襖	襖	1-21-72	笈	笈	1-25-28	梗	梗	1-29-83	薯	薯
1-18-64	迦	迦	1-22-10	卿	卿	1-25-49	膏	膏	1-30-5	哨	哨
1-18-71	牙	牙	1-22-34	饗	饗	1-25-84	鵠	鵠	1-30-68	鞘	鞘
1-18-86	廻	廻	1-22-47	僅	僅	1-25-89	甑	甑	1-30-83	杖	杖
1-18-90	恢	恢	1-22-84	喰	喰	1-26-21	叉	叉	1-31-10	蝕	蝕

(つづく)

別表 1 (続き)

面区点 位置	改正後 字形	改正前 字形									
1-31-54	訊	訊	1-37-7	擢	擢	1-41-46	瀕	瀕	1-50-91	咬	咬
1-31-64	逗	逗	1-37-14	溺	溺	1-41-64	斧	斧	1-51-62	嘲	嘲
1-32-2	摺	摺	1-37-38	兔	兔	1-42-35	蔽	蔽	1-51-83	轉	轉
1-32-81	撰	撰	1-37-40	堵	堵	1-42-45	瞥	瞥	1-55-49	徘	徘
1-32-89	煎	煎	1-37-43	屠	屠	1-42-46	蔑	蔑	1-57-8	扁	扁
1-32-90	煽	煽	1-37-50	賭	賭	1-42-51	篇	篇	1-59-89	棘	棘
1-32-92	穿	穿	1-38-52	滯	滯	1-42-58	婉	婉	1-60-84	橙	橙
1-32-93	箭	箭	1-38-59	遁	遁	1-42-60	鞭	鞭	1-64-36	狡	狡
1-33-7	詮	詮	1-38-70	謎	謎	1-42-89	庖	庖	1-65-17	甕	甕
1-33-25	噌	噌	1-38-71	灘	灘	1-43-9	蓬	蓬	1-65-20	甦	甦
1-33-44	遡	遡	1-38-74	楯	楯	1-43-80	鱒	鱒	1-65-54	疼	疼
1-34-23	揃	揃	1-39-9	禰	禰	1-43-88	迄	迄	1-67-14	崇	崇
1-34-29	遜	遜	1-39-55	牌	牌	1-44-57	儲	儲	1-67-62	竈	竈
1-34-60	腿	腿	1-39-71	這	這	1-44-63	餅	餅	1-68-7	筵	筵
1-34-93	蛸	蛸	1-39-73	秤	秤	1-44-66	粿	粿	1-68-32	箒	箒
1-35-9	辿	辿	1-39-93	駁	駁	1-44-76	爺	爺	1-71-7	腱	腱
1-35-14	樽	樽	1-40-4	箸	箸	1-44-90	鍵	鍵	1-71-59	艘	艘
1-35-23	歎	歎	1-40-32	叛	叛	1-44-92	愈	愈	1-71-74	芒	芒
1-35-80	註	註	1-40-52	挽	挽	1-45-18	猷	猷	1-73-42	虔	虔
1-35-85	瀦	瀦	1-40-80	誹	誹	1-46-90	漣	漣	1-73-71	蜃	蜃
1-36-29	抄	抄	1-40-85	樋	樋	1-46-91	煉	煉	1-74-4	蠅	蠅
1-36-40	槌	槌	1-41-3	稗	稗	1-46-92	簾	簾	1-75-35	訝	訝
1-36-42	鎚	鎚	1-41-15	逼	逼	1-47-17	榔	榔	1-80-43	靄	靄
1-36-52	辻	辻	1-41-21	謬	謬	1-47-64	屢	屢	1-80-55	靄	靄
1-36-82	挺	挺	1-41-31	豹	豹	1-49-45	冤	冤	1-81-57	騙	騙
1-37-2	鄭	鄭	1-41-32	廟	廟	1-50-55	叟	叟	1-82-77	鴉	鴉